

4 建企第 290 号
令和 4 年 9 月 21 日

建設業者団体の長 様

建設企画課長
(公印省略)

週休 2 日工事、災害復旧工事における工事成績評定の運用について

週休 2 日工事においては、働き方改革による建設業の週休 2 日取得推進のため、平成 27 年度より長崎県独自の工事成績への評価方法を「週休 2 日モデル工事試行要領」に定め評価を行っていたところですが、建設業界皆様のご理解により週休 2 日取得の普及が図られていることから、下記の通り評価方法を改め運用することとしました。

また一方で、災害復旧工事はその緊急性の面から週休 2 日工事の対象とならず、週休 2 日対象工事と成績評定において差が生じていることから、是正を図るとともに、社会条件、自然条件等により施工条件が厳しい現場であり、その工事特性を確実に評価するよう下記のとおり定め運用することとしましたので、併せてお知らせします。

記

1 . 長崎県建設工事成績評定要領の運用内容

- ・週休 2 日工事：別紙 1、別紙 2 のとおり。
- ・災害復旧工事：別紙 1、別紙 3 のとおり。

週休 2 日工事の評価方法については、「週休 2 日モデル工事の試行要領」を別途改定

2 . 運 用 日：令和 4 年 10 月 1 日以降に完成検査を行う工事

担当 土木部建設企画課技術情報班
095 - 894 - 3023

週休2日工事、災害復旧工事に関する成績評定方法の改定について

週休2日工事について

- ・週休2日工事の成績評定については、当該制度の推進を図るため平成27年度の実施時から、長崎県独自に「3点加点(外枠)」のインセンティブを設けている。
- ・現在、週休2日の取得も向上していることから、成績評定方法を国の評価方法と合わせるよう改める。

災害復旧工事について

- ・災害復旧工事は緊急性の面から週休2日の対象外とされているが、週休2日工事においては経費の計上及び成績評定での加点評価おこなわれているため、不平等な状態となっており、是正の要望等がある。
- ・このため、成績評定において週休2日工事と同等程度の評価が受けられるよう改める。
- ・また、災害復旧工事は社会条件、自然条件等により施工条件が厳しい現場であり、その工事特性を確実に評価するよう改める。

○成績評定改正の内容

対象	主任監督員評価項目				担当課長評価項目		加点合計		
	別紙-2 2.施工状況 工程管理		別紙-2 5.創意工夫 創意工夫		別紙-3 4.工事特性 施工条件等への対応				
					都市部等の作業環境、 社会条件への対応	厳しい自然・地盤条件 への対応			
週休2日工事	最大1.6点(4点×0.4) 以下の2項目で評価 休日の確保を行っている。 4週6休以上で評価 その他(4週8休以上を実施) 4週8休以上で評価		最大0.4点(1点×0.4) 該当のみ 以下の項目で評価 ・その他(週休2日(4週8休)の 確保に向けた企業の取組が 図られている。) 週休2日の確保自体を評価する ものではなく、企業として週休2日 確保に向けた取り組みを行い、 当該工事で4週8休以上を実施 されている場合に評価する		最大0.4点(2点×0.2) 以下の2項目で評価 工程管理に係る積極的な 取り組みが見られた。 4週8休以上で評価 その他(4週8休以上を実施) 4週8休以上で評価				2.4点 ~ 0.2点 4週8休 の場合
災害復旧工事	最大1.6点(4点×0.4) 以下の2項目で評価 休日の確保を行っている。 4週4休以上で評価 その他(災害復旧工事)				最大0.4点(2点×0.2) 以下の2項目で評価 災害復旧工事など、特に 工期的な制約がある場合 において、余裕をもって工 事を完成させた。 その他(災害復旧工事)		1.2点(6点×0.2) 以下の項目で評価 事故や災害発生直後 等の緊急的な対応が 必要な工事	0.8点(4点×0.2) 以下の項目で評価 被災箇所の措置や急 峻な地形及び土石流 危険渓流内での工事	4.0点 ~ 2.2点

○ [主任監督員] 2. 施工状況 工程管理 において、以下の項目で評価する。

別紙-2 ①

考查項目別運用表

(主任監督員)

考查項目	種別	工種	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II 工程管理		<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ①「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> ②工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した計画工程を作成している。 <input type="checkbox"/> ③実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 ※ 2-E-19-1) <input type="checkbox"/> ④現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の滞りが見られない。 ※ 2-E-19-2) <input type="checkbox"/> ⑤時間制約や片側交通通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> ⑥工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 <input type="checkbox"/> ⑦適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧休日の確保を行っている。 ※ 2-E-19-3) <input type="checkbox"/> ⑨計画工程以外の特殊外作業がほとんど無い。 ※ 2-E-19-4) <input type="checkbox"/> その他 理由： ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%未満・・・・・・ c	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である 上記該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 不適切である 上記該当があれば・・・e	

休日の確保を行っている。

災害復旧工事であれば4週4休以上で評価

その他(理由: 災害復旧工事)

災害復旧工事であれば評価(厳しい現場環境の中で工期内に完成させた)

○ [担当課長] 2. 施工上状況 工程管理 において、以下の項目で評価する。

別紙-3 ①

考查項目別運用表

(担当課長)

考查項目	種別	工種	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II 工程管理		<input type="checkbox"/> 遅れている <input checked="" type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ② 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ③ 工程管理を適切に行なったことにより、夜間工事の回数を減らし、工事による地域への影響を軽減させた。 <input type="checkbox"/> ④ 工程管理に係る機能的な取り組みが見られた。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ⑥ 工事終了後適切に仮設橋に点検している場合において、工程管理を的確に行い、完結をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他 理由： ●判断基準 該当項目が3項目以上・・・・・・ a 該当項目が1～2項目・・・・・・ b 該当項目なし・・・・・・ c	<input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや遅れている 上記該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 遅れている 上記該当があれば・・・e	

災害復旧工事など、特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。

災害復旧工事で工期内で適切に完成させたら評価

その他(理由: 災害復旧工事)

災害復旧工事であれば評価

○ [担当課長] 4. 工事特性 施工条件への対応 において、以下の項目で評価する。

都市部等の作業環境、社会条件等への対応 <input type="checkbox"/> ④ 地盤の形状、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> ⑤ 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> ⑥ 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> ⑦ 現場上での交通規制による影響を減らす工事 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 事故や災害発生直後等の緊急的な対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> ⑨ 施工箇所が在来線にわたる工事 <input type="checkbox"/> その他 理由： ※上記の対応事項に1つ以上し点がつけば6点の加点とする。	(4) について ・使用中の鉄道又は道路と交差する構架などの工事。 ・市街地等の密集地帯での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5) について ・ガス管、水道管、電話線等の支障物について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や関係機関との制約が特に多い工事。 ・その他が各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。	(6) について ・市街地での夜間工事。 ・D10地区での工事。 (7) について ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・共用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制期間の段階撤去を日行を行った工事。	(8) について ・事故や災害発生直後等の緊急的な対応が必要な工事。24時間対応の施工等により早期開始が求められる工事。 (9) について ・作業環境が在来線に分布している工事。 (10) について ・施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要な工事。
厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> ⑩ 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> ⑪ 雨・雪・霜・氷・霧・凍結等の自然条件の影響が大きい工事 <input checked="" type="checkbox"/> ⑫ 被災箇所の措置や急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> ⑬ 動物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> ⑭ 維持補修工事等環境に比べて地元調整等の手続がかかる工事(新設) <input type="checkbox"/> ⑯ その他 理由： ※上記の対応事項に1つ以上し点がつけば4点の加点とする。	(10) について ・河川内の構架工事において地下水位が高く、ウエルポイント工法などによる排水や大規模な山留めが必要となる工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎等に地盤調査を実施するなどの支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。 (11) について ・雪害又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に降雪の影響で不稼働日が多く、主に作業台や台船を使用する工事。 ・潜水未を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業機等を設置した工事。	(12) について ・急峻な地形のため、作業機台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、吊橋を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面又は急峻な地形下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 ・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事。 (13) について ・イソワシ等の猛禽類などの貴重な動物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。	(14) について ・維持補修工事等環境に比べて地元調整の手続がかかる工事。 ・その他、自然環境又は地盤条件への対応が必要であった工事。 (15) について ・その他、現場等における環境の措置のうかがい評価すべき事項が認められる工事。

都市部等の作業環境、社会条件等への対応

事故や災害発生直後等への緊急的な対応が必要な工事

災害復旧工事であれば評価

厳しい自然・地盤条件への対応

被災箇所の措置や急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事

災害復旧工事であれば評価